



GR LENS A12 50mm F2.5 MACRO GR LENS A12 28mm F2.5 RICOH LENS S10 24-72mm F2.5-4.4 VC RICOH LENS P10 28-300mm F3.5-5.6 VC GXR MOUNT A12 で追加となった機能について

この度は、リコー製品をお買い求めいただきありがとうございます。GXRはバージョンアップにより以下の機能が追加されます。

撮影モード

M: マニュアル露光モード

シャッタースピードでB(バルブ)とT(タイム)が選択できます。Bはシャッターボタンを押し続けると露光され、離すと露光が終了します。Tはシャッターボタンを押すと露光が始まり、もう一度押すと露光が終了します。どちらも180秒経過すると、強制的に撮影が終了します。(RICOH LENS P10 28-300mm F3.5-5.6 VCのみ30秒となります)
また、ISO感度の[AUTO]、[AUTO-HI]も有効です。

- メモ** -----
 - B／Tは、別売り品のケーブルスイッチ (CA-1) でも操作できます。
 - B／T選択時、ISO [AUTO]、[AUTO-HI] を設定した場合のISO感度は、RICOH LENS S10/RICOH LENS P10では100に固定され、それ以外のユニットでは200に固定されます。(フラッシュOFF時)



SCENE モードの追加

シーンモードに[ミニチュアライズ]、[ハイコントラスト白黒]、[ソフトフォーカス]、[クロスプロセス]、[トイカメラ] が追加されました。[クロスプロセス]、[トイカメラ] では、周辺減光が個別に設定できます。

- 注意** -----


使用していたファームウェアのバージョンによっては、バージョンアップを行うと設定していた周辺減光が初期値に戻る場合があります。

ターゲット移動の機能追加

ADJ.レバーを押して表示されるターゲット移動の方法に「追尾ターゲット」が追加されました。
また、ターゲット移動時に  ボタンを押すと、ターゲットが中央に戻ります。もう一度  ボタンを押すと、ターゲット移動が解除されます。

撮影時画面拡大

MENU/OK ボタンを長押しすると、中央部を拡大表示します。再度 MENU/OK ボタンを長押しすると、中央部を画面全体に拡大表示します。再度 MENU/OK ボタンを長押しすると、拡大表示から通常表示に戻ります。マニュアルフォーカス時は、シャッターボタン半押しで通常表示に戻ります。

 (セルフタイマー) ボタンを長押しする、または撮影設定メニューの [拡大表示倍率] を選択すると表示倍率を設定できます。＋／－ボタンで [2倍]、[4倍]、[8倍] から選択し、MENU/OK ボタンを押します。ターゲット移動時とマニュアルフォーカス時は、方向キー (＋／－／Fn1／Fn2)で拡大表示位置を移動することができます。

- メモ** -----
 - 全体拡大表示中に以下の操作を行うと、通常表示に戻ります。
 - 露出補正を行った場合
 - ダイレクトボタンを操作した場合
 - シャッターボタンを半押しした場合
 - 画面全体に拡大表示する前に AE ロックしていた場合、拡大中も AE は追従しますが、ロックされていた AE 値で撮影されます。
 - キーカスタム設定メニューの [Fn1／Fn2 ボタン設定] に [撮影時部分拡大]、[撮影時全体拡大] の機能を登録できます。


アップダウンダイヤルの機能追加

フラッシュモードとセルフタイマーを設定するとき、アップダウンダイヤルを使っても、モードを切り替えることができます。

オートリサイズズームの対応サイズ追加

オートリサイズズームは、すべてのアスペクト比に対応しました。

フォーカスリング高速移動

マニュアルフォーカス時に、 (マクロ) ボタンを押しながらフォーカスリングを回すと、すばやくピント合わせできます。(GR LENS A12 50mm F2.5 MACRO/GR LENS A12 28mm F2.5のみ)

再生モード

カメラユニット情報表示

詳細情報表示時と Exif ファイルに、カメラユニット情報が表示されます。

撮影設定メニュー

【画質・サイズ】

JPEG を同時記録しない [RAWのみ] が追加されました。

【オートブラケット】

[ISO-BKT] が選択できます。撮影メニューの [ISO感度] の設定値を基準とし、± 1/3EV ステップで ISO 感度差を設定して3枚の画像が撮影できます。

- 注意** -----

設定可能な ISO 感度の範囲内で撮影を行うため、[ISO 感度] の設定によってはブラケット幅が 1/3EV にならなかったり、同じ設定の画像が撮影されることがあります。

【インターバル撮影】

撮影枚数が設定できます。その場合、撮影中は「残り撮影枚数」が表示されます。また、撮影間隔の最小値は 2 秒、撮影枚数指定の最大値は 99 枚です。

【ノイズリダクション】

ノイズの軽減量を [OFF]、[AUTO]、[弱]、[強]、[MAX] から設定できます。設定により、画像の記録完了までの時間が異なります。

- 注意** -----

シーンモードの [ポートレート]、[スポーツ]、[ミニチュアライズ]、[ハイコントラスト白黒]、[ソフトフォーカス]、[クロスプロセス]、[トイカメラ]、[斜め補正] では設定できません。

【ホワイトバランス】

[白熱灯 1]、[白熱灯 2] が選択できます。白熱灯の下での撮影時に使用します。[白熱灯 2] は [白熱灯 1] に比べて赤みを残して撮影することができます。また、[手動設定] の DISP. でフラッシュを発光させると、フラッシュ発光時の測光結果でホワイトバランスを合わせます。

- メモ** -----

[白熱灯 2] を選択すると、「ボディ編」に記載されている [白熱灯] の設定と同じ色合いで撮影されます。

【フォーカスアシスト】

輪郭やコントラストを強調して画像モニターに表示し、ピントを合わせやすくします。

- メモ** -----
 - マニュアルフォーカス時は、シャッターボタン半押しで輪郭強調が解除されます。
 - セットアップメニューの [フォーカスアシスト選択] で、フォーカスアシストの表示方法が選択できます。

【シャッタースピード自動シフト】

モードダイヤルを S に合わせているときに [シャッタースピード自動シフト] を [ON] にすると、設定したシャッタースピードでは露出が合わせられないとき、カメラが自動的に適正露出を得られるようにシャッタースピードを調整します。モードダイヤルを S 以外に合わせている場合は、[シャッタースピード自動シフト] は表示されません。


【ISO 感度】

[ISO-LO] が追加されました。(GR LENS A12 50mm F2.5 MACRO/GR LENS A12 28mm F2.5のみ)

- メモ** -----
 - [ISO-LO] は ISO 100 相当です。ただし、ダイナミックレンジが狭くなり、高輝度が白飛びしやすくなります。
 - セットアップメニューの [ISO 感度ステップ設定] で、ISO 感度の設定ステップを選択できます。

キーカスタム設定メニュー

【ADJ. レバー設定】

[ADJ. レバー設定 1] ～ [ADJ. レバー設定 4] で [アスペクト比] の機能を登録できます。アスペクト比を登録して ADJ. レバーボタンを押すと  が表示され、アスペクト比を設定できます。その他の登録できる項目については、「ボディ編」を参照してください。

【Fn1／Fn2 ボタン設定】

[撮影時部分拡大]、[撮影時全体拡大]、[フォーカスアシスト]、[アスペクト比] が追加されました。アスペクト比を登録して Fn1 または Fn2 ボタンを押すとアスペクト比を設定できます。その他の登録できる項目については、「ボディ編」を参照してください。

【ADJ. ISO ダイレクト変更】

[ON] にすると、撮影が可能な状態のときに ADJ. レバーを左右にたおして ISO 感度を変更できます。ご購入時の初期設定は [OFF] です。

- 注意** -----
 - プログラムシフトモードまたは絞り優先モードでは、シャッターボタンを半押ししている状態でも ISO 感度を変更できません (プログラムシフトモードでは、シャッターボタンを半押しした後に指を離して絞り値とシャッタースピードが表示されている状態でも変更できます)。上記の場合、一度 ISO 感度を変更すると [AUTO]、[AUTO-HI] には戻せません。
 - マニュアル露光モードのときは、ADJ. レバーを使って ISO 感度を変更することはできません。(GXR MOUNT A12 は変更できません。)

【マイセッティング削除】

[マイセッティング登録] の [マイセッティング BOX] で登録した設定とモードダイヤルの [MY1]、[MY2]、[MY3] に登録した設定が、初期値に戻ります。

【キーカスタム設定初期化】

キーカスタムの設定内容が初期化されます。

- メモ** -----

[マイセッティング登録] で設定した内容は初期化されません。

【ズームボタン設定】

 / ボタンに割り当てる機能を [OFF]、[デジタルズーム]、[露出補正]、[ホワイトバランス] から選択できます。(GR LENS A12 50mm F2.5 MACRO/GR LENS A12 28mm F2.5のみ)

【マイセッティング登録】

- 登録場所にマイセッティング BOX [1] ～ [6] とカード [1] ～ [6] が選択できます。
- マイセッティングに、ズームポジションを登録することができます。[マイセッティング編集] で [ズームポジション] を選択すると、設定を編集できます。(RICOH LENS S10 24-72mm F2.5-4.4 VC/RICOH LENS P10 28-300mm F3.5-5.6 VCのみ)

セットアップメニュー

【ISO 感度ステップ設定】

撮影設定メニューの [ISO 感度] のステップを [1EV] または [1/3EV] 単位で設定できます。

【ISO AUTO-HI 設定】

[ISO 感度] を [AUTO-HI] に設定しているときの ISO 感度を切り替えるシャッタースピードと、ISO 感度の上限を設定できます。

【スリープ】【オートパワーオフ】

[スリープ]、[オートパワーオフ] に入るまでの時間を 1 ～ 30 分の間で設定できます。

【ファームウェアバージョン】

カメラのファームウェアのバージョンを表示します。メモリーカードにファームアップ用のファイルがあるときは、ファームウェアのアップデートができます。

- 📌 **メモ** -----
ファームウェア情報については、弊社ホームページ (<http://www.ricoh.co.jp/dc>) をご覧ください。最新ファームウェアをダウンロードし、アップデートすることができます。

【ターゲット位置拡大再生】

再生の拡大表示で、撮影時にターゲット移動した位置を中心に拡大することができます。

【撮影拡大表示解除】

拡大表示で撮影後に、拡大画面を維持するか解除するかを選択できます。[OFF] は拡大表示を維持し、[ON] は撮影後に解除されます。

【フォーカスアシスト選択】

撮影設定メニューの [フォーカスアシスト] を ON に設定しているときのモードが選択できます。

- MODE1：ピントが合ったところの輪郭が強調されます
- MODE2：白黒表示になり、ピントが合ったところが白く光ります

【撮影条件維持】

[ON] に設定した場合、撮影後にレリーズを解除せずにシャッターボタン半押しを継続すると、フォーカス、絞り、シャッター速度、ISO、ホワイトバランスの設定を維持します。

- 🚩 **注意** -----
 - ・ 以下の場合は、撮影条件は維持できません。
 - ・ シーンモードの [動画]、[斜め補正]
 - ・ インターバル撮影
 - ・ 連写
 - ・ セルフタイマー
 - ・ [ON] に設定した場合、ホワイトバランスの [マルチパターン AUTO] は [AUTO]、ダイナミックレンジ補正は無効で動作します。

【白とび警告表示】

[ON] に設定した場合、再生モードのハイライト表示で、白とびする部分を点滅表示します。

【著作権情報】

著作権情報を入力し、画像の Exif データに書き込むことができます。

- 📌 **メモ** -----
記録された著作権情報は、再生画面の詳細情報表示で確認できます。

【マクロ AF 距離制限】

[ON] にすると、🌸 (マクロ) ボタンを押すたびに [マクロオン 12 – 30 cm]、[マクロオン 7 – 14 cm]、[マクロオフ]の順に、マクロの距離を設定できます。マクロの距離を設定することにより、オートフォーカス (AF) 時に、すばやくピント合わせできます。(GR LENS A12 50mm F2.5 MACRO のみ)

【スポット AF エリア設定】

AF エリアを [ノーマル] または [ピンポイント] から選択できます。撮影設定メニューの [フォーカス] で [スポット AF] を選択したときと、マクロモードのとき、[スポット AF エリア設定] で選択した AF エリアモードでピントを合わせます。(GR LENS A12 50mm F2.5 MACRO/GR LENS A12 28mm F2.5 のみ)

- 📌 **メモ** -----
[ピンポイント] 選択時は、AF エリア枠が [ノーマル] より小さくなります。

ご注意

バージョン 1.27 以降では AF 高速化により、バージョン 1.07 で追加された「AF モード」機能が削除されています。